学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	電気製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	電気製図（実教出版）						
副教材等	プリント学習						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

製図特有の文字や線の種類を正しく理解し、きれいに描けるように練習します。
また、図面から物体を立体的にイメージできるようになりましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
製図用具の基礎的な取り扱い方や製図に関する規格、線種や文字を理解する。また、電気製図における電気器具の部品図、屋内電気配線図の書き方を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
投影図法、三角法を用いて正しく図面を書ける。また、正しい線種、部品図を正確な縮尺で書ける。
また、単線図の作成に加え、作成した単線図から複線図への書き換えられる。
【学びに向かう力、人間性等】
製図の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上をめざして自ら学び、製図の各分野の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	製図用具の基礎的な取り扱い方や製図に関する規格、線種や文字を理解できている。また、電気製図における電気器具の部品図、屋内電気配線図の書き方を理解できている。	投影図法、三角法を用いて正しく図面を書くことができている。また、正しい線種、部品図を正確な縮尺で書くことができている。また、単線図の作成に加え、作成した単線図から複線図への書き換えができる。	積極的に実習に取り組もうとし、意欲的に製図課題を作成しようとしている。また、自ら主体的に図面から制作物の情報を読み取る力と製図を作成する力を向上させる態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	製図の基礎	・製図の基礎 ・製図用具と使い方 ・製図に関する規格 ・線と文字 ・投影図法 ・三角法	a:製図用具の使い方、線種、文字に加え、投影図法、三角法の概念について理解できている。 b:正しい線種を使用し、図面を描くことができている。また、投影図法、三角法を使って正しく図面を描くことができている。 c:積極的に実習に取り組もうとし、意欲的に製図課題を作成しようとしている。	**製図課題**	**製図課題**	**製図課題**
後期	制作図	・各電気器具の部品図の書き方 ・電気屋内配線図の図記号の書き方 ・単線図、複線図の書き方	a:電気器具の図記号の種類を理解し、正しく書くことができている。 b:電気配線図の図記号や単線図、複線図を正しく書くことができている。 c:積極的に実習に取り組もうとし、意欲的に製図課題を作成しようとしている。	**製図課題**	**製図課題**	**製図課題** **実習態度**

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度